

(I-6) 橋脚に作用する荷重と設計に関する研究

京都大学 正員 工博 小 西 一 郎

高田機工株式会社 正員 ○尾 田 淳 二

橋脚に作用する荷重には、上部構造の死荷重、上部構造に作用する活荷重、橋脚の自重、地盤反力などがあり、とくに土質力学的力が作用することなどから、橋梁上部構造に作用する力にくらべ、さらに複雑である。

橋梁上部構造の型式、死荷重などについては多くの資料にもとづく研究がおこなわれ、橋梁設計にさいしては、その型式の選定や、死荷重の推定に利用することが出来る。橋脚に関しては上部構造におけるような研究は少なく、その型式、寸法を直ちに推定することは上部構造におけるほど容易でない。

本研究は、橋脚設計のための以上のような問題を解決するための第一歩として行つたもので、橋脚の予備的な設計計算のために、上部構造、土質、基礎工の構造などの大きい分類によつて橋脚型式の選定、一般形の設計に必要な値について調査、検討をこころみたものであり、詳細は講演会当日発表する。